

■第21回 障がい者就労支援ネットワークセミナーが終了しました

十勝を5ブロックに分け、年に2回開催している障がい者就労支援ネットワークセミナーの第21回目が先日終了致しました。

障がい者就労支援ネットワークセミナーは、地域にいても相談ができる体制づくりの一環として平成19年度より就労支援に関する巡回相談と、地域の特徴的な取り組み等を通して、情報交換・課題整理・活動のきっかけ作り・顔の見える関係づくりを目的に開催しています。前半の個別相談・企業相談会は5件となり、セミナーには各エリア合計で79名の方にご参加頂きました。



今回は「特別支援学校の就労支援の現状」をテーマに、十勝管内の特別支援学校の先生方にご講演を頂きました。これまでも地域の特別支援学校とは連携させて頂いておりますが、当センターとしては取り組みをしっかりと伺うような機会はあまり無かった為、この度はそれぞれの学校の特色や生徒との関わり方のポイント等を伺う貴重な機会となりました。また、普通校の先生にも参加して頂いたり顔の見える関係づくりのきっかけとなるセミナーになったのではないかと思います。

南十勝(広尾町開催)・東北十勝(本別町開催)エリアでは、中札内高等養護学校 進路指導部 小林 啓先生から学校の進路に関する現状などの話題提供を頂きました。その中で、中札内高等養護学校では在学中に「働く」部分の力をしっかりと身に付けるため、作業学習が中心のカリキュラムになっていることを伺いました。また、卒業後の就労については順調にいかない場合もあり、職場のマッチングが大切であったり、今後学校側としては定着するまでの支援に力を入れていく必要性を感じているとのことでした。課題が生じた場合には関係機関と協力して対応にあたるということで、当センターとしてもより一層連携を強化し支援にあたっていければと考えております。

西十勝(清水町開催)・北十勝(士幌町開催)エリアでは、新得高等支援学校 進路指導担当 野寺 圭一先生より、学校の概要などについてお話しを頂きました。特に、作業学習に関しては作業場所や内容から学年毎の意味合いなどを詳しく説明頂くとともに、実習の様子では生徒さんの実習初日と最終日の動きの違いから実習の成果を感じることができました。開校して2年目ということで、今後は「働く」事と「生活していく」事の大切さを伝えながら、就職に向けた支援を行っていくということでした。

東十勝(幕別町開催)エリアでは、中札内高等養護学校幕別分校 進路支援部 高崎 辰也先生より話題提供を頂きました。入学の要件から卒業後の支援まで丁寧にご説明を頂き、学年により異なる実習の意味合いや、職場開拓をおこなう方法なども詳しく伺うことができました。また、就職後の定着支援に関しては、職場で起こることだけではなくプライベートな相談も引き受けたりと、卒業後の生徒への関わりについてお話しを頂き、「就職したから終わり」ではない支援をされていることを参加者の方々と共有できました。さらに、幕別分校ならではの幕別高校との関わりについても大変興味深く聞かせて頂きました。



講師としてご協力頂きました先生方、そしてお忙しい中ご参加下さいました皆様、ありがとうございました。

次回のネットワークセミナーは、1～2月頃を予定しています。

今後ネットワークセミナーで取り上げて欲しい内容や案などがありましたら、当センターまでご連絡頂ければ幸いです。

(担当:坂井)